令和６年度 川崎市社会教育委員会議 青少年科学館専門部会

次　　第

日時：令和６年１１月１３日（水）　１４時
会場：川崎市青少年科学館　自然学習棟２階　学習室

１　開会

２　館長挨拶

３　議題
令和６年度事業実施中間報告について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　資料１

４　報告事項
（１）第３回専門部会（事業視察）の希望調査について　・・・・・・・・・　資料２
（２）その他
・川崎市青少年科学館における自然分野の収蔵資料の整理状況とその進め方について
・・・・・資料３
・

５　閉会

参考資料
・科学館だより
・プラネタリウムリーフレット
・緑化フェアパンフレット（全体・生田緑地）

川崎市社会教育委員会議 青少年科学館専門部会　委員名簿

任期：令和６年５月１日から令和８年４月３０日まで

		氏　　名	役職等
１号	教育職員	菅原　隆宏	稗原小学校　校長
		高橋　泉	王禅寺中央中学校　校長
２号	社会教育関係		欠　　員
３号	公募市民	南條　邦子	
		間渕　秀和	
４号	学識経験者	佐藤　武宏	県立生命の星・地球博物館　学芸部長 （貝類学・甲殻類学・機能形態学）
		山岡　　均	国立天文台天文情報センター 広報室長／准教授 （天文学）
		常喜　　豊	昭和女子大学名誉教授 （動物生態学）
		栗芝　正臣	専修大学ネットワーク情報学部　准教授 （デザイン学）
５号	家庭教育関係	眞壁　総子	特定非営利活動法人 ままとんきっず　理事長

資料１

令和６年度事業実施中間報告

（１）収集保存事業

分野	事業名		事業実施状況
自然	1	収蔵資料の収集・分類・整理（台帳化）	昆虫資料を中心に新規資料の作製を進める。また、収蔵庫にある既存の昆虫標本のうち未登録資料の整理・登録（電子台帳化）と新規作製標本を併せて 1,000 点を目標に進めており、これまでに未登録資料は 208 点を登録済み、新規作製標本は昆虫 626 個体を採集し、223 点を作製中。
	2	GBIF 等国内外機関への資料情報の提供	「サイエンスミュージアムネット（S-Net）」「地球規模生物多様性情報機構（GBIF）」へのデータ提供による国内外への収蔵資料情報の公開、今年度は 10 月末に 1,150 件を提供。
天文	1	プラネタリウム番組のアーカイブ化	番組制作の際に収集した資料、番組素材のアーカイブ化を行う。 資料のデータベース化について、他館の事例を調査するなど検討を行う。
	2	天文資料の整理保存	故冨田氏、故箕輪氏から寄贈された天文資料を整理保存し、目録作成を進める。太陽スケッチ等、紙資料のデジタル化を行っている。
科学	1	科学実験についての資料収集と保存・管理	サイエンス教室・サイエンスワークショップ等で提出される計画書・報告書を実践事例集の作成に向けて管理している。館内視聴を踏まえ、科学工作を紹介する動画更新のため、市民団体と題材の検討に入っている。

（２）展示事業

分野	事業名		事業実施状況（9 月末現在含む）	実施回数（カッコ内は年間予定）	観覧者数等（延べ数）
自然	1	生田緑地の自然情報の発信	生田緑地における自然についてのリアルタイムな情報発信として、受付横の生田緑地マップを 2 週間に 1 度の頻度で更新、SNS を 24 回更新している。	通年	―
	2	新たな自然史資料による常設展示の更新	新たな標本・キャプションによる展示更新として、生田緑地の四季だよりを 2 回更新、ピックアップ展示を 6 回更新したほか、5 月 10 日の地質の日を記念して、地層剥ぎ取り標本の特別展示を実施している。	通年	―
天文	1	プラネタリウム一般投影（一般投影番組制作含む）	市民への天文知識普及を目的に、毎月テーマを変えて投影。 フュージョン新番組を制作する。	通年	36,045 人
	2	子ども向け投影（子ども向け番組制作含む）	幼児・小学生を対象に約 2 カ月ごとに番組を変えて投影 （土・日・祝日：1 日 1 回、夏・冬・春休み期間：1 日 2 回） 年度内に新番組を制作予定	通年	
	3	星空ゆうゆう散歩	平日午後にシニア向け投影として実施。元職員の國司眞氏が解説を担当する。	5 回 (11 回)	687 人
	4	ベビー&キッズアワー	4 歳までの乳幼児とその保護者を対象とした投影を第 1 木曜日、第 3 水曜日（学校の長期休業期間等を除く）に開催する。	9 回 通年	454 人
	5	プラネタリウム学習投影	小中高等学校の学習指導要領に準拠した投影。この他幼稚園・保育園等を対象とした投影も実施。	通年	6,581 人

	6	星空自由空間 （一般団体貸切利用）	平日に一般団体による貸切利用を受入れ。投影内容等のカスタマイズに応じる。 6 月に専門学校の交流行事としての利用があった。10 月に音楽イベント、11 月に聴覚障がい者団体による利用予定がある。	1 回 通年	71 人
	7	天文関連展示事業	天文に関する常設展示の他、プラネタリウム番組やイベントに関連した写真展など企画展示の開催。 オーロラ写真展、夏の星に関するミニ展示を実施。10 月 4～27 日に本庁舎でのオーロラ写真展を市役所本庁舎で開催	通年	―
科学	1	市民協働の科学工作展示	科学実験教室・サイエンスワークショップ等で取り組んだ科学工作物や原理をパネル展示や映像資料として公開するため、科学市民団体と題材の検討に入っている。	通年	―

（3）調査研究事業

分野	事業名		事業実施状況（9 月末現在含む）
自然	1	市域の生物調査	種子植物と野鳥は全区で、昆虫とシダ植物は生田緑地を中心として、市域における動植物相解明を進めるための生息種の確認調査を行うとともに、また、生田緑地を中心として植物、野鳥、昆虫はモニタリングが可能な分類群については、生息状況把握のための実態調査を継続中。
	2	市民の興味関心を高める調査研究の実施	外来種のムネアカハラビロカマキリについて、生息状況を確認するために、生田緑地内に 3 つのルートを設置し、それぞれ週に 1 度の頻度で調査を実施している。9 月末までに各ルート 12 回、計 36 回調査し、調査外も含めムネアカハラビロカマキリを 61 個体、ハラビロカマキリを 5 個体確認している。また、新たな調査研究の対象として、生田緑地のカメムシ相について記録している。
天文	1	川崎市域の星の見え方調査	市民協働により川崎市域における星の見え方調査を継続して実施する。夏の肉眼での調査には 80 件のデータが集まった。
	2	天体の観測	太陽望遠鏡での白色光及びHα 光による太陽観測、アストロテラス、天体観測室の望遠鏡及び冷却 CCD カメラ等の観測装置を活用した観測的研究を行う。
科学	1	市民の興味関心を高める調査研究の実施	授業活用をねらい、地層学習のデジタル教材に関連したプログラムの研究を進めている。

（4）教育普及事業

分野	事業名		事業実施状況（9 月末現在含む）	実施回数 カッコ内は年間予定	観覧者数等 （延べ数）
自然	1	生田緑地観察会	生田緑地の地質、野鳥、植物、昆虫などをテーマに観察会を事前申込制で実施、雨天や熱中症回避での中止 5 回。（市民団体が講師）	8 回 (26 回)	175 人
	2	サイエンス教室 （自然分野）	収蔵庫を見学するバックヤードツアー、学芸員のおしごと体験教室、多摩川での観察会を含む教室等を実施。	3 回 (10 回)	46 人
	3	自然サポーター研修会	自然分野の調査研究等を行う自然サポーターを養成することを目的とした講座を 4 回連続講座で実施。	2 回 (4 回)	18 人

	4	自然観察（地層・林）	学習支援を目的に、小・中・高等学校の依頼に基づき、生田緑地内の地層の観察会を実施。林の観察会は 11 月に 1 校実施予定。	1 校 2 回 (通年)	138 人 (9/23 現在)
	5	総合的な学習の時間支援	小・中・高等学校の依頼に基づき、生活科・総合的な学習の時間の支援を実施。	通年	学校からの依頼受付中
天文	1	アストロテラス公開	平日の昼間アストロテラスにて太陽の観察を行う。 月に 2 回程度、日曜日に「昼間の星を見る会」を開催し、太陽と 1 等星や惑星などを観察する。	公開 22 回 昼星 2 回 通年	一般公開　1157 人 昼間の星　98 人
	2	アストロテラス夜間一般公開	日没後アストロテラスにて当日自由参加の天体観察会を実施する。	4 回実施 3 回中止 (13 回)	503 人
	3	特別観望会	珍しく観察しやすい天文現象等を観察する観望会を開催する。10 月 20 日に紫金山・アトラス彗星の特別観望会を開催した。	1 回	53 人
	4	プラネタリウムワークショップ	小学生を対象とし、プラネタリウムの番組を企画・制作・投影する教室を実施し、12 人の受講生が参加している。3 月に発表会を開催予定。	5 回 (12 回) 連続講座	56 人
	5	プラネタリウム発表会	近隣の学校と連携した事業として日本女子大学附属高等学校と連携し、天文クラブ生徒によるプラネタリウムの番組制作、投影発表会を実施した。	1 回	110 人
	6	天文講演会／天文講座	外部から講師を招き天文等に関する講演会を開催する。2 月に太陽をテーマに開催予定	(1 回)	―
	7	天文サポーター研修会	天文サポーターを新規に募集し、天文事業ボランティアを育成する。定期的に会合を実施し、事業の準備や研修を行い、スキルアップと事業の充実を図る。	6 回 (12 回)	延べ 48 人
	8	プラネタリウム　イベント投影	プラネタリウムの星空と音楽や映像を楽しむコンサートや映像イベントを開催する。 10 月にオーロラ特別上映会、12 月に東京交響楽団団員によるコンサートを開催予定。	(2 回)	―
	9	かわさき星空ウォッチング	アストロカー（移動天文車）で市内各地に出向き、天体観察会を実施する。9 月から依頼に応じて対応している。	2 回 通年	110 人
	10	サイエンス教室 （天文分野）	アストロテラスの望遠鏡を使った天体観察等を体験する教室や、小学生を対象としてプラネタリウムの解説など、天文学芸事業を体験する学芸員のおしごと体験教室等を実施する。	5 回 (10 回)	98 人
科学	1	ワクワクドキドキ玉手箱出前科学実験教室	小中学校等の依頼に基づき、市民団体を講師として派遣し、ワクワクドキドキ玉手箱を活用して行う科学実験教室。	15 回 (通年)	487 人
	2	サイエンス教室 （科学分野）	様々な年代を対象に、科学の楽しさに触れられる実験や工作を行う事前申込制の教室を実施している。	12 回 (30 回)	206 人

	3	サイエンスワークショップ（サイエンスショー含む）	子どもから大人まで楽しめる当日参加型のイベント。サイエンスをテーマにした簡単な工作や観察・実験を実施している。	35回 (65回)	2,500人
		科学実験ショー（サイエンスショー）	ワクワクドキドキ玉手箱を活用した科学実験ショーなどの開催　※11/4､2/24振替休日の2日間を予定（トラボクラブ担当）	0回 (2回)	―
	4	第19回かわさきサイエンスチャレンジ	子どもの科学への関心喚起・促進を目的に、KSP（かながわサイエンスパーク）で開催される「かわさきサイエンスチャレンジ」に参加し、6つの科学実験工作ブースへの出展協力をした。	1回	440人
	5	科学サポーター研修会	科学実験指導者を養成することを目的とした講座を実施した。館内イベント（教室やワークショップ）での実習を含め全6回の講座を行い、受講者8名が修了した。	(6回) 連続講座	延べ47人
	6	子ども創意くふう教室	一人ひとりの創造性を伸ばすことを目的とした連続講座を12月に開始予定（担当講師：川崎市元教員）	0回 (5回)	―
	7	出前教室	科学館職員が、実施団体から依頼を受けて自然や科学、天文に関するテーマで行う出前教室。	通年	学校からの 依頼受付中
	8	学校支援 ゆうゆう広場科学実験教室	川崎市適応指導教室（ゆうゆう広場）に通う小中学生を対象に、科学館や各ゆうゆう広場にて行う科学実験教室。	10回 (24回)	87人
	9	学校支援 かわさき GIGA スクール構想	学校の理科教育の充実につながるよう端末を活用したデジタル教材の構成を検討している。	通年	―
出版事業	1	青少年科学館「紀要」等出版物の刊行	調査研究等、学芸事業の成果を「紀要第35号」に取りまとめていく。今年度から紙媒体での刊行はせず、PDFファイルを科学館ホームページで公表。	通年	―

（5）ネットワーク事業

分野		事業名	事業実施状況（9月末現在）	実施回数	観覧者数等 （延べ数）
展示・企画	1	環境局　企画展	川崎市が所蔵している写真や映像などから川崎の環境歴史を振り返る展示を行うことを通して、脱炭素社会など未来に向けた行動を考えるきっかけを作る「川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展」を環境局地域環境共創課と連携して7月27日から8月25日までの期間で開催した。	1回	7,190人
	2	FIELD MUSEUM展	令和7年1月開催予定の専修大学「FIELD MUSEUM展」に向けて、生田緑地の体験型教材として地層フィールドワーク（学生49名参加）を開催した。	0回 (1回)	―
調査研究・収集保存	1	川崎市域の生物調査	「かわさき自然調査団」と共著で調査結果を公表する。「神奈川県植物誌調査会」の川崎ブロック事務局として資料の受入、問合せ等に対応する。	通年	―

学習支援	1	**職場体験・職業インタビューの実施**	市内中学校の職場体験では5月1校、7月1校、9月1校を受け入れた。	3回 (通年)	12人
	2	**中学校連合文化祭開催への協力**	市内の中学生が集まる市中学校理科作品展受賞式及び研究発表の会場として協力し10月23日（水）に開催。	0回 (1回)	―
	3	**教員・職員等研修の受入れ** **・教員研修** **・教員社会体験研修** **・博物館実習**	市内外の小中学校及び理科研究会などの依頼により、地層観察や骨パズル、天文の研修会を7月（41名）に実施した。横浜国立大学CST養成講座を9月（13名）に実施した。 博物館学芸員を志す学生（7 名）を受け入れ、8月に2週間の実習を実施した。	通年	61名
地域振興・生田緑地内	1	**図書館、区役所等との共催事業の実施**	7月にプラネタリウムでの読み聞かせ事業を多摩図書館と共催で開催した。 また区民祭等多摩区役所が実施する各種イベントの共催、連携を推進する。	通年	154人
	2	**地域の大学、団体等との共催事業の実施**	インターンシップの受入れ等、地域の大学・団体等との連携を推進する。5月に川崎天文同好会と共催の講演会を開催した。	通年	―
	3	**生田緑地ミュージアムの実施**	指定管理者、生田緑地内施設との連携により、円滑な事業運営体制を構築して実施する。 9月にお月見フェスタを開催し、お月見プラネタリウムや屋外ステージでのお月見トークを行った。	1回	―
	4	**日本民家園との「七夕」「お月見」事業の共催等、生田緑地内施設との共催事業の実施**	「七夕」「お月見」事業を日本民家園との共催により実施した。七夕体験ではプラネタリウム投影時に短冊の配布、民家園での七夕飾りつけや機織り体験を行った。お月見では民家園でのお月見トーク、プラネタリウムを実施した。	通年	七夕投影　621人 お月見投影　200人
	5	**生田緑地内施設及び指定管理者との広報活動の推進、各施設の回遊性の向上**	全体会議、広報担当者会議の参加、協力により、緑地内施設と指定管理者との情報共有、横断的広報活動の推進を図っている。 生田緑地内施設、藤子・F・不二雄ミュージアムとの連携によるスタンプラリーの開催、生田緑地内の紹介をするフリーマガジン（もりのにじ）の作成等により施設の回遊性の向上を図った。	通年	―

（6）管理運営

		事業名	事業実施状況（9 月末現在）
管理運営	1	管理業務	指定管理者と連携し、館を円滑に運営するとともに、予算を計画的に執行している。 10 月 17 日から生田緑地も緑化フェアの会場となっているが、緑化フェアとも協力・連携して管理運営を行っている。 指定管理者については、円滑な事業運営を行っている。また、構成企業の強味を生かした自主事業を行っている。
	2	危機管理	防災点検表による館内諸室・設備の定期点検を職員が分担して実施、毎月点検・報告を行っている。 災害時の初動対応マニュアルについて、他施設の取組も参考にしながら精度を高める。今年度は 9 月 20 日（金）に館職員、指定管理者、ショップ及びカフェの関係者が参加して消防訓練を実施した。2 月又は 3 月にも訓練実施予定。
	3	進行管理	青少年科学館専門部会での指導・助言や事業評価を踏まえて年度事業計画を策定し、内容や実施方法についてより適切な方法等を検討しながら事業実施・進行管理を行っている。
科学館の魅力を高めるサービス展開	1	広報計画	科学館だより、プラネタリウムリーフレット、ホームページ、SNS 等による情報発信を積極的に行うとともに、緑地全体の広報活動と連動した情報発信を行っている。 毎月 1 回定期的にかわさき FM へ学芸職員が出演しているほか、ラジオやテレビ、新聞雑誌等の刊行物の取材を積極的に受け広報に努めている。
	2	魅力を高めるサービス展開	科学館スタッフが適切な案内及び接遇を行うほか、学芸部門の職員によるレファレンス対応、ショップ及びカフェにおけるサービスの向上等により、館全体の魅力向上を図っている。
	3	多様な利用者への配慮	バリアフリー関連設備・用具、表示の保全と研修等による人的支援の充実を図るとともに、英語・中国語・韓国語の館内案内を用意し外国人来館者への利便性向上を図っている。 プラネタリウムではヒアリングループ（磁気ループ）受信機の貸し出しを行い、聴覚障害者など、補聴器等を使用している方の「聞こえ」をサポートしている。

視察事業希望調査表

資 料２

回答者　　様

●**視察ご希望の事業の「参加申込」欄に、〇印及び参加可能時間をご入力**ください。

全てご希望ない場合は、回答者欄にお名前を入力のうえ、こちらに「〇」をお願いします　⇒　希望なし「　　」

●事業の内容、実施状況について、館HP（https://www.nature-kawasaki.jp/）からも確認いただけます。

ご不明な点がございましたら、メール、電話等でご連絡ください。

日にち	時間	対象事業			参加申込	
		分野	事業名	概要	申込	参加可能時間
12月3日	9:30-11:15	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は市立菅小学校6年生。（雨天時室内プログラム1時間程度で実施）		__：__～　： ※
12月3日	12:45-14:15	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は市立菅小学校6年生。（雨天時室内プログラム1時間程度で実施）		__：__～　： ※
12月5日	10:30-11:00	天文	プラネタリウム ベビー＆キッズ	0歳からの乳幼児と保護者を対象としたプラネタリウム投影。		__：__～　： ※
12月5日	13:30-14:15	天文	プラネタリウム フュージョン投影	メガスター3フュージョンの機能を最大限に生かした特別番組「過去と未来への旅」の投影		__：__～　： ※
12月5日	14:00-14:45	天文	アストロテラス公開	アストロテラスの望遠鏡を使った太陽の観察（晴天時のみ）		：　～　：
12月5日	15:00-15:45	天文	プラネタリウム 一般向け投影	プラネタリウム一般向け番組「太陽の素顔」投影		__：__～　： ※
12月6日	9:30-11:45	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は市立東生田小学校6年生。（雨天時室内プログラム1時間程度で実施）		__：__～　： ※
12月6日	13:00-14:15	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は市立虹ヶ丘小学校6年生。（雨天時室内プログラム1時間程度で実施）		__：__～　： ※
12月7日	10:00-11:30	科学	サイエンス教室 「地震の科学」	小学3～6年生を対象。NPO法人科学実験教室サポーター・くじらによる科学実験教室。実験を通して、楽しみながら科学現象について考える。		__：__～　： ※
12月7日	12:30-14:30	科学	サイエンスワークショップ	子どもから大人まで自由参加の所要時間15分程度の初歩的な科学工作の講座。（かわさきアトム工房担当）。		__：__～　：
12月7日	18:30-20:00	天文	アストロテラス夜間公開	アストロテラスの望遠鏡を使った夜間の天体観察会。月、土星を観察予定。		__：__～　： ※
12月8日	11:00-12:00	天文	昼間の星を見る会	アストロテラスの望遠鏡を使った太陽と明るい恒星または惑星の観察（晴天時のみ）		：　～　：
12月8日	14:00-15:00	天文	昼間の星を見る会	アストロテラスの望遠鏡を使った太陽と明るい恒星または惑星の観察（晴天時のみ）		：　～　：
12月8日	14:00-16:00	科学	サイエンス教室 「サイエンスマジックをやってみよう」	15歳以上（主に成人）を対象としたサイエンス教室。錯覚や思い込みを利用したサイエンスマジックを予定。市民団体サイエンス・ちゃれんじ・チーム担当。		__：__～　： ※
12月10日	9:30-11:45	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は市立宿河原小学校6年生。（雨天時室内プログラム1時間程度で実施）		__：__～　： ※
12月10日	13:00-15:00	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は都立下目黒小学校6年生。（雨天時室内プログラム1時間程度で実施）		__：__～　： ※
12月13日	9:30-11:15	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は市立金程小学校6年生。（雨天時室内プログラム1時間程度で実施）		__：__～　： ※
12月14日	10:00-11:30	科学	サイエンス教室 「うかせてあそぼう」	小学1～6年生を対象。かわさきアトム工房による科学実験教室。実験を通して、楽しみながら科学現象について考える。		__：__～　： ※
12月14日	12:30-14:30	科学	サイエンスワークショップ	子どもから大人まで自由参加の所要時間15分程度の初歩的な科学工作の講座。（かわさきアトム工房担当）。		：　～　：

日にち	時間	対象事業			参加申込	
		分野	事業名	概要	申込	参加可能時間
12月17日	10:00–10:45	学校	プラネタリウム 学習投影	学習指導要領に準拠しながら行うプラネタリウム投影。対象は市立登戸小学校4年生。		__：__～　： ※
12月17日	11:15–12:00	学校	プラネタリウム 学習投影	学習指導要領に準拠しながら行うプラネタリウム投影。対象は市立平間小学校4年生。		__：__～　： ※
12月17日	13:30–14:15	学校	プラネタリウム 学習投影	学習指導要領に準拠しながら行うプラネタリウム投影。対象は市立栗木台小学校6年生。		__：__～　： ※
12月18日	10:30–11:00	天文	プラネタリウム ベビー＆キッズ	0歳からの乳幼児と保護者を対象としたプラネタリウム投影。		__：__～　： ※
12月18日	13:30–14:15	天文	プラネタリウム フュージョン投影	メガスター3フュージョンの機能を最大限に生かした特別番組「過去と未来への旅」の投影		__：__～　： ※
12月18日	14:00–14:45	天文	アストロテラス公開	アストロテラスの望遠鏡を使った太陽の観察（晴天時のみ）		：　～　：
12月18日	15:00–15:45	天文	プラネタリウム 一般向け投影	プラネタリウム一般向け番組「太陽の素顔」投影		__：__～　： ※
12月19日	13:30–14:15	天文	プラネタリウム 星空ゆうゆう散歩	ベテラン解説員を講師に迎えたシニア向け投影。元職員の國司眞氏により「冬至とクリスマス」をテーマに解説。		__：__～　： ※
12月19日	14:00–14:45	天文	アストロテラス公開	アストロテラスの望遠鏡を使った太陽の観察（晴天時のみ）		：　～　：
12月19日	15:00–15:45	天文	プラネタリウム 一般向け投影	プラネタリウム一般向け番組「太陽の素顔」投影		__：__～　： ※
12月20日	9:30–11:45	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は市立大戸小学校6年生。（雨天時室内プログラム1時間程度で実施）		__：__～　： ※
12月20日	13:00–15:00	学校	地層観察会	小学6年生の理科授業支援として行う、生田緑地における地層の露頭観察会。対象は市立梶ヶ谷小学校6年生。（雨天時室内プログラム1時間程度で実施）		__：__～　： ※
12月21日	12:30–14:30	科学	サイエンスワークショップ	子どもから大人まで自由参加の所要時間15分程度の初歩的な科学工作の講座。（トラボクラブ担当）。		：　～　：
12月22日	11:00–12:00	天文	昼間の星を見る会	アストロテラスの望遠鏡を使った太陽と明るい恒星または惑星の観察（晴天時のみ）		：　～　：
12月22日	14:00–15:00	天文	昼間の星を見る会	アストロテラスの望遠鏡を使った太陽と明るい恒星または惑星の観察（晴天時のみ）		：　～　：

●「参加時間」に※印のついた事業は定時開始となりますので、視察を希望される場合には、開始時刻に余裕を持って集合をお願いいたします。なお、プラネタリウムは投影開始後のドーム内への出入ができません。

●「アストロテラス公開」「サイエンスワークショップ」「アストロテラス夜間公開」等の事業は、開催時間中は随時参加・入退場自由です。なお、土日祝日の混雑時には解説ができない場合がありますのでご了承ください。

●報告書に記載の6つの事業について、上記以外のご希望がありましたらご相談ください。

●収蔵庫見学等を他の視察と合わせて行うことも可能です。ご希望がありましたらご相談ください。

●皆様のご希望を踏まえ、できるだけ複数の皆様による視察となるよう調整・まとめさせていただきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

川崎市青少年科学館における自然分野の収蔵資料の整理状況とその進め方について

資料３

【電子台帳（収蔵資料のデータ）の現状】

当館の収蔵庫には、概算で 6 万点とされる博物館資料が保管されており、これらの資料は当館の標本番号が付与されるとともに、電子台帳（エクセルデータ）によって管理されている。電子台帳は、種子植物、シダ植物等の分類群ごとに存在しており、昆虫はトンボ目、バッタ目等の目レベルに分け管理されている。本来、**電子台帳の標本番号は 1 から始まり、最後に新規作製標本へ付与した番号が最終番号として記載**されているものと思われるが、当館の電子台帳は、**ところどころエクセル上の行自体がなく、数字が欠損しており、電子台帳上、該当の番号が未登録であるのか欠番であるのか状態が不明**のものがある。

現在、**電子台帳に改めて欠損している行を追加**し、該当の行を未登録あるいは欠番と表記することで、**電子台帳上、標本番号が 1 から最終番号まで連番で存在する状態へと電子台帳の整理**を進めている。

欠損している数字の行がないため、未登録なのか欠番なのか、状態が不明。

標本番号	和名	学名
00000001	●●	●●
00000004	●●	●●

欠損している数字の行を追加し、標本が見つかり次第、電子台帳へ登録。

登録状況	標本番号	和名	学名
	00000001	●●	●●
未登録or欠番	00000002		
未登録or欠番	00000003		
	00000004	●●	●●

【資料整理の課題】

未登録資料の登録

昆虫標本の電子台帳は欠損した番号が多く、その数はコウチュウ目で 4,530 点、カメムシ目で 3,576 点など、計 12,000 点にも及び、**標本番号が付与されているものの電子台帳に未登録の資料が存在**している。このため、特に欠損した番号が多いコウチュウ目について、収蔵庫の標本を見直し、**未登録資料が見つかり次第、登録**する作業を行っており、**昨年度は 1,000 点の未登録資料を登録**している。

なお、昨年度登録した標本は、すでに種同定がなされたものが多く、登録作業が比較的容易であったが、**現在登録を進めている標本については、未同定の標本が多い**ことから、登録作業には**相当の時間が必要**となっている。

新規資料の収集・標本作製

未登録資料の登録作業と並行し新規資料を収集するため、野外で新規資料を採集し、標本化を実施している。この作業の中で、**特に採集資料の標本化（展翅・展足）には専門的な知識と熟練した技術が、種同定には専門的な知識と観察眼が必要**となり、これらの作業には**相当の時間を要している**。

【資料整理・収集の進め方】

本来、収蔵庫の既存資料は標本番号の付与とともに台帳（電子台帳）に登録されているものだが、当館の既存資料には未登録の資料があるため、速やかな登録が重要であると考える。しかしながら、現状として当館の**自然科学班の職員体制は、専門の学芸員である係長職 1 名**、指導主事 1 名、事務職 1 名、再任用短時間職員 1 名、会計年度任用職員 1 名であり、**限られた職員体制の中で自然分野と科学分野、両分野の博物館事業について対応しながら未登録資料の登録作業、新規資料の収集・標本作製の作業を進める必要**がある。

これらの作業を少しでも速やかに進めるためには、作業にあたる職員、**特に学芸員の時間の確保が重要**となることから、**学芸員による調査研究を当面の間休止**し、作業における業務内容、役割分担を整理しながら**時間を確保することで、優先的に資料の整理・収集を進めていきたい**。